

山形県高等学校遠隔・通信教育ネットワーク

目的

- 中心拠点となる配信ベースセンター(Shonai Streaming Base Center (SSBC))を拠点とした年間を通じた遠隔授業・通信教育の実施
- 小規模校に在籍する生徒の進路希望や学習到達度に応じた遠隔教育による学びの質の保障
- 生徒のニーズに応じた、オンデマンド教材、通信による教育方法を活用した、あらゆる生徒への学びの保障

現状、課題

- 高校の小規模化により、配置される教員数が少なく、生徒の多様な進路希望等に応えられるような選択科目を開設できない、学習機会の充実が図られない等の課題を抱えている。
- 地域の核となり魅力を発信している学校が多くあるが、授業・進路指導等において、幅広い学力層へ対応した指導、多様な背景を持つ生徒に対応した指導等、課題を抱えている現状にある。

今年度の取組

中心拠点となる 配信ベースセンターの整備

- ・ 庄内総合高校に配信ベースセンターを設置することを決定
- ・ 中心拠点に専任教員を配置
- ・ 遠隔授業ガイドライン（仮）の作成

遠隔授業の通年実施に向けた 体制作り

- ・ 受信校に加茂水産高校、遊佐高校を選定
- ・ 通年実施に向けて機材等整備
- ・ 実施に向けて科目や受信校側の体制等の調整

遠隔授業・通信教育実施 に向けた情報収集

- ・ 岩手県、新潟県、高知県への視察及び遠隔授業等に関する情報収集を実施

今年度の成果

令和7年度からの配信拠点設置及び遠隔授業本格開始、通信教育試行開始に向けて、令和6年度は主に情報収集及び機材等の準備を行った。組織体制の確立や、配信拠点及び受信校の環境整備等を順調に進めることが出来た。

次年度に向けて

本県においては来年度から本格実施となるが、年間を通じた遠隔授業の実践により、遠隔授業の評価の観点の見取り方、受信担当者の負担軽減のための方法を確立していく。また、通信教育のニーズ調査及びオンデマンド教材の対応についても、取り組んでいく。